



たてやま おらがんまつち



館山市豊房地区

館山市無形民俗文化財
かな まり

日吉神社例祭と神余かっこ舞

自慢の伝統芸能 神余かっこ舞

およそ二百年前から伝わる神事「神余かっこ舞」は、毎年七月十九二十日に行われる日吉神社の例祭に、雨乞いと五穀豊穡を願った鞆鼓を打ち鳴らし、二匹の雄と一匹の雌が、ゆったりとまた激



能です。地域のみんなに守られていいる神事「かっこ舞」は、神余

われています。現在のでは地域の人達で「神余かっこ舞保存会」を組織して、館山市無形民俗文化財として伝統あるかっこ舞を後世へ継承・保存するための積極的な活動が行われています。

しく伝統の舞を踊ります。側では四人の子が雨を表す七色の紙を垂らした花笠をかぶり、カエルの鳴き声を表す「ササラ」を鳴らし祈ります。この「かっこ舞奉納」も、時代の流れの中で幾度と無く中断されてきましたが、昭和三十九年に高校生による自主団体「あすなる会」が発足され、昭和四十九年に「あすなる会」の手によって再び復活されました。



「ささら」と「かっこ舞」。時には激しく、時には神々しく踊る。

「あすなる会」の3人の高校生たちによる「かっこ舞」披露